

# そこに、西行がいた!! 2019《西行月間：9月》in 賓日館

★賓日館入館料 300円（高校生以下は150円）休館日：火曜日

1日(日)

～

30日(日)

会場／賓日館 《1階 寿の間》 火曜休

9:00～17:00（協力：伊勢市教育委員会）

「安養寺跡・西行庵跡推定地出土遺物」展示

「遺跡発掘調査関係資料」「西行について」展示



★山茶碗や箸、釜、下駄といった日用品から、瓦（おそらく安養寺の物）、墨書木製品（もしかしたら西行自筆の絵かも？）まで、多種多様な出土遺物から835年前にタイムスリップできます！

※木製品の展示は16日(祝)まで。18日(水)以降はレプリカ展示になります。

1日(日)

16日(祝)

会場／賓日館 《1階 寿の間》

11:00～12:00

「考古学から見た西行庵」遺物・発掘調査解説 新田 洋（松阪市文化財保護指導委員）

★「考古学」と聞くと、何か小難しい印象を抱く方も多いかもかもしれませんが、何の予備知識がなくても分かりやすいように解説します。遺跡の発掘調査には、「玉手箱」を繙くようなワクワク感があります。貴方もそのワクワク・ドキドキを味わってみませんか？

1日(日)

16日(祝)

28日(土)

会場／賓日館 《1階 寿の間》

14:00～15:00（二見浦西行実行委員会）

西行紙芝居&西行かるた

★西行の生涯を紹介する紙芝居と、遊びながら知識も身につくカルタを楽しみに来て！

13日(金)

会場／賓日館 《2階 大広間》

18:30～20:00【第I部：18:30 第II部：19:00】（開場 18:00）

「西行と月」～月をこよなく愛で、詠った歌人を偲ぶ～

ミニ夜話&ミニコンサート

第I部～ミニ夜話：奥野雅則（二見浦西行実行委員会実行委員長）

第II部～ミニコンサート：「管・弦・動・打」

演奏曲予定：「月の光」（ドビュッシー）「鳥の歌」「赤とんぼ」「この道」「桜」

★この日は旧暦8月15日、「中秋の名月」です（月の出時刻17時56分、月齢13.7）。

お茶とお月見菓子を召し上がり、幻想的な調べに耳を傾けながら、西行が愛した、いにしえの月に想いを馳せてください！

★チケット制：1,000円（賓日館入館料、お月見セット[お茶とお茶菓子]代を含む）

## 西行（1118～1190）ってどんな人!?

平安時代末期の歌人。元は佐藤義清という鳥羽院の北面の武士でしたが、23歳で突然出家。その理由は学会でも未解明の謎です。諸国遍歴の後、32歳頃から高野山に隠棲。過酷な大峯修行を2度完遂し、勸進僧として蓮華乗院移設に尽力。吉野山の桜に魅入られ、しばしば仮居を設けて桜を愛でた歌を多く遺しています（自家集として『山家集』『聞書集』など。勅撰和歌集の『新古今和歌集』には歌人最多の94首が入集）。

63歳で高野山を降りてから、69歳で奥州平泉へ旅立つまでの6年間、二見浦・安養寺付近の質素な庵に隠棲（今の「光の街西」バス停付近）、内宮の権禰宜・荒木田満良らの庇護を受ける一方、神官に歌を教え、それまでの歌作り人生の集大成『御裳濯河歌合』『宮河歌合』の編纂に心血を注ぎました。

平泉へ旅の途中、鎌倉で源頼朝に請われ武士の奥義を説くなど、老いても武士の気概を持ち続けていました。約2,300首の歌を残した一流歌人でありながら、修行僧・勸進僧としても功德を積み、武士の道義にも通じた偉人である一方、全国に様々な伝承が残る卑俗な一面も併せ持つ、日本史上、稀有な人物。